

第1次調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

昭和52(1977)年5月下旬～7月上旬

だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

調査概要

所在地

神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ320番1

調査面積

800㎡

調査原因

深耕事業(天地返し)に伴う調査

主な遺構

住居址 9軒・溝状遺構 4条

主な遺物

弥生土器片・壺形土器・甕形土器・鉢形土器・高坏型土器・磨製石斧・磨製石鏃・滑石製勾玉・有舌尖頭器・土製品・鹿角製ヤス断片・自然遺物（シカ、イノシシの歯）

特記事項

本調査に併せ8月下旬から9月下旬にかけて範囲確認調査を実施し、遺跡の範囲は7万㎡におよぶことを確認した。また、本調査では15m×12.2mの弥生中期大型住居址や出土遺物から弥生中期から後期にかけての大集落遺跡であり、三浦半島南部における拠点集落としての位置付けがなされ、重要な遺跡として評価を受けた。（参考文献：『三浦市赤坂遺跡』昭和52(1977)年11月）



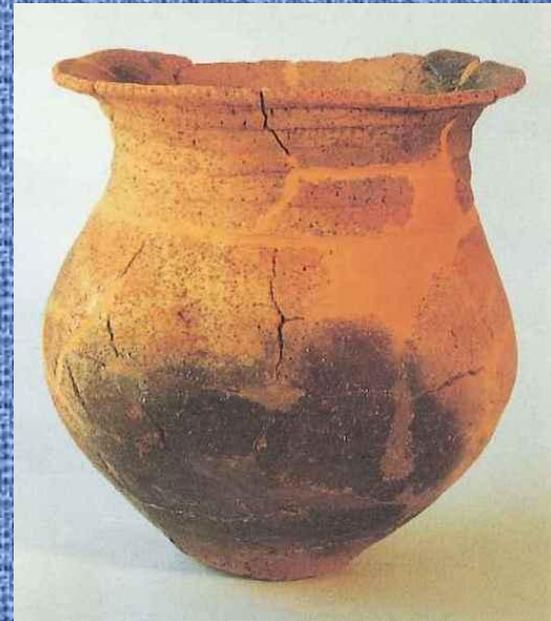
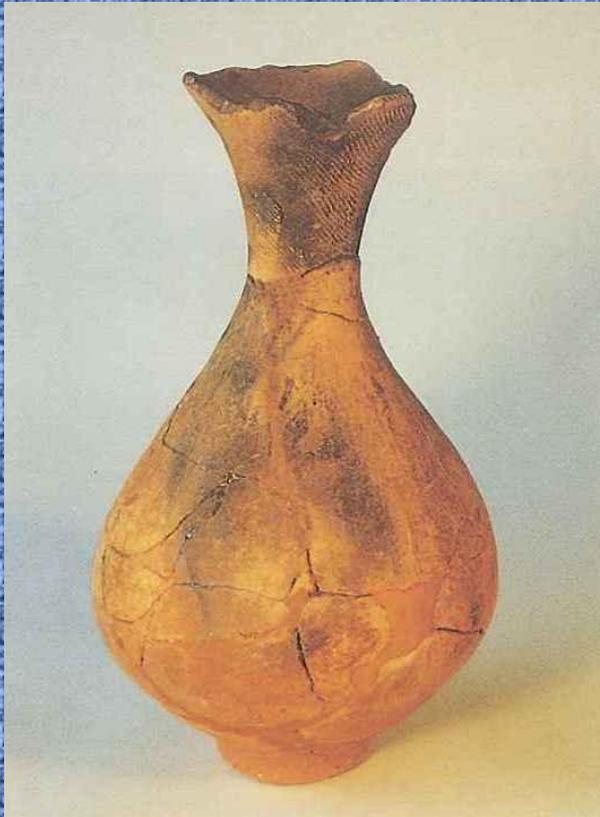
現地説明会の様子
(所蔵：三浦市教育委員会)



発掘調査の様子
(所蔵：三浦市教育委員会)



**検出された住居址と溝の跡
(所蔵：三浦市教育委員会)**



出土した壺形土器(左)と甕形土器(右)
(弥生時代中期後半～後期の土器)
(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第2集』・1992年3月)